

## 高麗川地区第1回学校運営協議会会議録

本高麗川地区第1回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和3年5月14日（金）
場 所	日高市立高麗川小学校図書室
出 席 者	栗原正仁 谷野秀之 高麗孝道 谷口めぐみ 作田啓子 滝沢恵利子 半田貞晴 青木敏恵
欠 席 者	加藤邦宏 塚越 稔 中野俊彦
審 議 事 項 及び決定事項等	<p>1 令和2年度の成果と課題（報告）</p> <p>2 学校運営の基本方針について</p> <p>【決定事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校の学校運営基本方針について各校長から提示されたものが承認された。</li> </ul> <p>3 学校運営協議会組織及び年間計画について</p> <p>【決定事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の実施で承認された。</li> </ul> <p>4 地域連携本部について</p> <p>【決定事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の団体を中心に、協力を呼びかけていく。</li> <li>・地域共同本部のもとに、3つ程度の大きな活動組織（案：学習・環境・安全）を作り、具体的な活動の母体と整備していく。</li> </ul>
会 議 資 料	<p>1 高麗川小学校区 学校運勢協議会資料</p> <p>2 日高市立高麗川小学校・高麗川中学校 研究テーマ～学校運営協議会の充実と小中一貫カリキュラム編成～</p> <p>2 令和3年度高麗川小学校学校経営方針 令和3年度高麗川小学校グランドデザイン 令和3年度高麗川中学校学校経営方針 令和3年度高麗川中学校グランドデザイン</p> <p>3 活動計画書</p> <p>4 高麗川学園応援団（地域協働本部）組織図</p>

	5 諸団体一覧
会議の経過	<p>1 令和2年度の成果と課題</p> <p>会長： 事務局、高麗川中学校大山教頭より資料に基づいて、報告をお願いします。</p> <p>教頭： 令和2年度の成果と課題については、別添資料の通りです。昨年度は、高麗川小中共通の目標「ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子」を設定した。</p> <p>昨年度の成果としては、地域に社会に開かれた教育課程づくりに関する理解、意識付けがはかれたこと、9年間で子供を育てる意識が高まり、共有・連携して授業改善を進めていく体制が整ったことです。課題としては、より一層効果的な学校運営協議会にのあり方について協議していく必要があること。小中教職員が互いの教育課程を理解した上で、主体的・協働的な授業を意識して乗り入れ指導を見据えた計画立案が課題となる。</p> <p>2 学校運営の基本方針について</p> <p>校長： 子どもが通いたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい、地域が誇りに思う学校を目指している。行事についてはコロナウイルスの不安もあるが、対策をしつつ一部実施していく予定である。本年度から通級指導学級わかたけが設置された。本校は、通学区域が広く通学時間も長いが見守り隊の方々の協力を得ながら進めている。</p> <p>現在GIGAスクール構想の中で、タブレットを活用し、家庭でも学習の取り組みができるよう整備を勧めているところである。体力向上の面では、体育的行事の中止から体力が心配である。プールは現在のところ実施予定であるが、間隔等配慮をしていきたい。教師は授業で勝負と言われていている。教師も、向上に努めている。11月に研究発表を開催するが、コロナの関係で開催方法を考案中である。</p> <p>コミュニティスクールについては、9年間を見越した教育課程、地域一帯での取り組みを目指して進めていきたい。</p>

授業参観は、6月下旬3日間の授業参観を予定している。鎌倉方面への修学旅行については、残念ながら中止となってしまったが、9月6・7日の実施に向けてチャレンジしていきたい。

校長：

生徒はとても元気で、仲が良い。無言での清掃は、誇りに思っている。現在、通常級が4クラスずつ3学年、これに特別支援学級が2クラス、院内学級も加わった。できないを、できるに変える教師をめざし、学力の向上に努めている。タブレットを活用し、ネット上で課題を提出したりする授業も進めている。休み時間は、教師が生徒に寄り添う場面が見られる。思春期であり難しい時期ではあるが、先手先手の生徒指導を進めていきたい。体育祭については、接触をさけたコンパクトなプログラムを検討していきたい。

### 3 学校運営協議会組織及び年間計画について

教頭：

学校運営協議会の機能・組織について説明学校への支援活動が、本年度の主となる。会議の開催については、会場を小学校・中学校と交互に開催年5回の開催とします。

### 4 地域協働本部について

委員

小学校の学校応援団を中心に組織図の雛形を作成した。再編の必要があると思うので、ご検討ください。

委員

既存の団体があるので、この団体を巻き込んでいったほうがいい。連絡網を作って活用するのがいい。

委員

どのような方々が協力していただけるか、リストアップをした。各団体に一度参会していただき、この部分だったら協力できるというものを、地域協働本部に上げていただきたい。

委員

この中には、区長会の代表、健全育成の会では加藤さん

が会長をしているので、巻き込む形で組織していったらいいのではないか。どんな方にお声がけをしたらよいかを決めて、例えば商工会とか消防団とか。どこかで、そんな会が開ければいいと思っている。

委員

原案の組織は細かいので、3つ程度にまとめることができないか。学習・環境・安全など

委員：

この資料は、小学校がベースで、中学校ははいっていない。

委員：

めだかとか、少し細かいのではないか。

委員

広く分野をくくったなかで、その中で私ならこれが協力できる。といった、形で協力してもらうのはどうだろうか。

委員

団体さんとのやりとりなら、任期もあって次につながっていくことができる。

委員

区長会にも投げかける必要がある。

委員：

私も区長をやっていたが、コロナの前は懇親会もあった。最初の席で、教育長が来た時もあった。区長会の代表の方になげかけてみては

委員

今後精査していきましょう。

委員

今年中に形になればいいと思う。組織を3つくらい、何か子どもに親しみのあるキャッチを考えていきたい。